



散る桜、残る桜も散る桜。新たな出会いの春に向け、少しだけ寂しくもある日です。



令和4年3月30日(水) no.53 文責：上田

卒業証書授与式 「ただ一燈を頼め」

24日(木)、平成3年度卒業証書授与式を行いました。61名の卒業生たちが中学へと旅立っていきました。熊本地震の平成28年入学から6年、心身ともにたくましく成長した子ども達の姿にご家族の喜びもひとしおだったことだと思います。コロナ禍にあっても努力を惜しまない子ども達の姿は私たち教職員にも励みとなりました。ありがとうございました。

さて、校長式辞にて、『言志四録』の一説、「一燈を掲げて暗夜をゆく、暗夜を憂うこと勿れ、ただ一燈を頼め」(いかなる苦難にも友人や家族の頼りに立ち向かい自分の道を進むという意味)の言葉を卒業生に贈りました。創立146年の山西小学校の卒業生の一人として自分らしく生きてくれることを祈念しています。

修了式 深く考え、表現する子(知)

心優しく、思いやりのある子(徳)

体を鍛え粘り強い子(体)

25日(金)、令和3年度修了式で、子どもたちに『修了証』を渡しました。「第〇学年の課程を修了したことを証する」という修了証の文言に、「勉強や運動、生活のあらゆる場面で、皆さん一人一人が友達と頑張ったことが認められたという意味が込められている」と伝えました。当たり前のこととして、学びは次の学年へと続きますが、節目にもなるこの時期こそ、自分を振り返ることが大切です。ご家庭でも励ましをお願いします。おめでとうございます。

退任式 お世話になりました

本日30日(水)、令和3年度末教職員定期異動で山西小学校を退任することになった先生方との退任式を行いました。一期一会、出会うことと分かれることは対になっていると言われますが、山西小学校で出会った子ども達からたくさんのことを学ぶことができ感謝しています。退任される先生方の言葉にも子ども達に希望を持ち続けてほしいというメッセージが込められていました。

私事ですが、この山西小学校で教職生活を終えられたことをうれしく思っています。保護者、ご家族の皆さん、本当にありがとうございました。今後の山西小学校の発展を願ってやみません。

(※ 略儀ながら転任者のあいさつ文(別添)にて退任者の紹介をしています)